

八尾のムクノキ（ニレ科）

NPO法人グラウンドワーク八尾理事
齊藤 侑三



御野縣主神社のムクノキ



落葉高木で枝別れして、皮が割れて剥がれます。葉は互生し、狭卵形で鋸歯があり、表面はざらつきます。花は5月頃、淡緑色の小さな花が開き、実は晩秋に黒く熟し果肉は甘味があって美味しく食べられます。

山地に生えており、この実を好んで食べる鳥が 『ムクドリ』 で「ムクを食べるトリ」と言われています。用途は庭木、公園樹、建築、器具、楽器材などです。葉でそろばん玉を磨いて作っていた。

八尾市保全樹木に指定されているムクノキは 12 本あります。

(2019 年調べ)御野縣主神社に 6 本、渋川神社に 3 本、服部川八幡宮、西郡天神社、宝殿神社にそれぞれ 1 本あります。